

# ど の し た 淀

## 【どのした淀案内板出来ました】

7月31日(日)に早朝より青少年育成会メンバーが主体となり土地所有者承諾のもと、泊野インター正面を伐採・除草し、案内板を取付ける基盤は勝彦さん・井手原溶接所さんが制作、案内板は光広さんがデザインし作成してくれました。(案内板は差し込み式で内容を取り換え可能ですがそれが持つ技術と労力で取付けることが出来ました。感謝!!)

夏休み中に何人がどのした淀を利用したかは定かではありませんが、確実に増えている気がします。

どのした淀から泊野インターまでの環境整備範囲を徐々に広げて行き、きらり川と未利用地の有効活用による関係人口創出の妄想を抱いております。

その核となる施設としてきらりの里キャンプ場の管理棟を移設できたらと思っていましたが、叶わなかつたので別のアプローチを模索したいと思います。実現できるかは未知数ですが、様々な事業導入についても町をはじめ各種機関に提案・要望していくと思います。いずれにしても土地所有者の理解と協力が大前提です。お知り合いの土地所有者がおられましたらうじえん話程度にお話いただけたら有難いです。

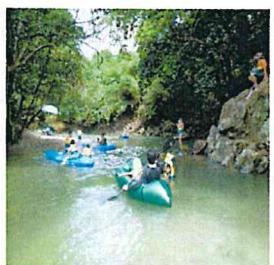


皆さんの  
ご利用も  
よろしく  
お願いします(ーーー☆

## 【コカ・コーラ自販機設置】

### 発行責任者

高峯公民会長  
三腰善行  
090-1089-9432  
令和4年9月1日発行



たかね寺小屋（持続可能な地域づくり）

### 【5Rって何?】 part ③

①リデュース ②リユース ③リペア

④リターン ⑤リサイクルの5つの単語の頭文字です。それぞれの単語の意味、実践行動について学習しましょう。

どのした淀利用者や、地域住民、往来者のどを潤すとともに熱中症予防対策に、コカ・コーラの自動販売機を設置しました。設置個所は現在徳丸建設の現場事務所になっていますが、かねては地主さんの御理解のもと、どのした淀利用者の駐車場としても貸していただいております。

年間を通じて利用状況を把握し、有益な効果が期待できるようでしたら、公民会若しくは泊野区の事業として取り組めたらと思っています。

◇新聞・チラシは販売店回収に出す。

◇ビン・ペットボトル・トレイ等、お店に返せるものはお店に返す。

※実践例の2つは町の資源ごみ回収（⑤のリサイクル）を優先したうえでの実践にしてください。貴重な町の収入源です。

⑤リサイクル：原材料として再生して使うこと。

◇資源ごみをしっかりと分別して出す。

◇特にその他プラ・その他紙を堅実に分別して出す。

次の世代にすべての生物が生きながらえるために環境を守り続けることは、もはや避けて通れない人類の責務です。しいては、自然豊かな泊野を活かすためにも必須の条件であり、一人一人の心がけに繋がっていくのです。

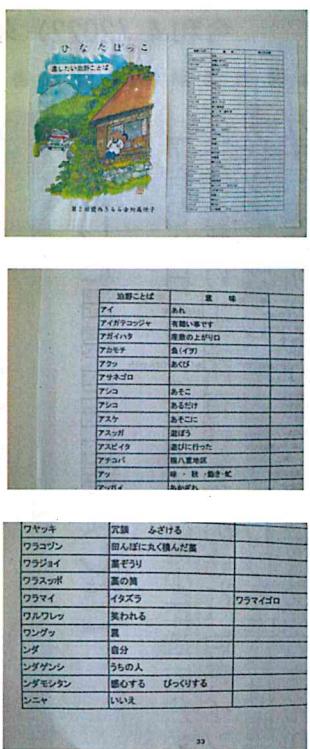
ごみの発生抑制と資源の有効利用を進め、環境への負荷が少ない環境循環の実現に繋げるため5Rに取り組みましょう。

## 【遺したい泊野ことば】

出鄉者（閑田やひの（ふ））の皆さんが、ふるやじを慕つ思いで募集した一千二百余りの鹿児島弁をひなたほっこ「遺したい泊野ことば」という簿冊にまとめてくださいました。ふるやじを思う志への感謝と、言葉を残すこととは地域文化を伝承することにも繋がるので、活性化委員会文化民生活会では泊野なりではの方言（単語）や格言を集め、「ひなたほっこ」と併せて加除修正し『言魂手箱』（仮称：ことばじばこ）として編集することにしました。

7月末までの募集には、残念ながら高峯からは1件の応募もありませんでした。さらなる公民会からいくつかの言葉や格言が寄せられたので、編集に取り掛かりたいと思います。あらんまでに言葉の中からそれぞれ一つずつ選択し小向井一成さんの絵を充て一覧にしたポスター的なものを作る計画です。

今年度もコロナの影響で各種イベントが中止になる中、地域活性化（元気再生）事業の主策になりそなので、泊野の地域文化伝承のために取り組みを進めてまいります。何か面白い言葉・格言を思いついたら逐次教えてください。編集期間中であれば差し込んでいただけると思います。



## 【国体花育てリレー「ワントー設置】

薩摩中央高校で育てられた国体花育てリレーの花苗を8月26日（金）に受け取りに行きました。先に配布されていたプランターに移植し泊野インター口に設置します。鹿害に合わないよう小学生から台を借りて高い所に置き、柵を設置する予定ではいるのですが//燃ゆる感動かごしま国体は、本来2020年に開催予定でしたが、コロナの影響で実施出来ませんでした。

国体は開催県が10年以上先まで仮決定していく、次期開催県においては何年も前から準備を進めてきているので、単純に順延という訳にはいきません。今回のかごしま国体も次期開催県である佐賀県をはじめ後催順番の滋賀、青森、宮崎等10県以上の御理解により特別国民大会として開催が決定したものです。

県内における競技の開催地は、競技場の整備状況や宿泊施設の関係等様々な条件をクリアして決定されます。したがって、県下でも競技の開催される市町村は限られます。

かごしま国体は来年10月7日～17日に開催されますが、本町で実施される競技は少年ラグビーで、全国から高校生ラガーマンが集い、熱戦を繰り広げます。前回鹿児島で開催された国体は昭和47（1972）年の太陽国体で50年になります。さしきらいの国体を町全体で盛り上げましょう。



## 編集後記『田の神であのひとのひとり』

先日、薩摩中央高校のオープンスクールが開催され視察に行きました。県内各地から中学3年生50名程度が参加していました。薩中高は普通科・生物生産科・農業工学科・福祉科の4学科があり、それぞれ40名が定員で学年毎に生58名・2年生53名・3年生41名で全校生徒数は152名です。（4月現在）

町では高校の存続対策で高校振興対策補助金として、通学費・寮費・資格取得・模擬試験等の助成をしています。また、今年度から地域おこし協力隊を高校魅力化コーディネーターとして採用しました。更に、全国で10校だけに指定される【地域みらい留学】65高2留学生に指定され、都会からの留学生を募集しています。（オープンスクールにも1親子が埼玉県から参加していました）

地元に高校があるかないかは、地域の活力、就労人材・人口の確保等々町に多大な影響を及ぼします。高校は幾度の遍歴を経て薩摩中央高校1校になりました。紫尾山同窓会（3校合同窓会）も結成されています。高校の名称こそ変わると卒業生も多いと思います。高校存続のためにも近隣に受験生がおられましたら母校への入学を御推薦いただき、入学生確保に御力添えを賜れたらありがたいです。小学校・中学校・高校までも母校が無くならないためにも一人一人の想い・行動を繋いでいきましょう。